旅だちながら

森崎和江詩三篇

(2020)

高橋悠治

1）雨

2）笛

1
senza misura
2
3
神も　見えない　無頼　ですが
rubato
4
5
6
はる　ばると　無量の風
7
8
9
ぬくもる　まえに　旅だち　ながら
10
11
12
登録　するのは ごめんです
リボンも 名も いりません
ささ笛　ひとつ

13
しょせんは 人間 ですが
14
しょせんは けものの むれ ですが
15
ほのほ の笛 ひとつ
16
17
18
いとしい 人 よ
19
生まれて おいで
20
21
はる ばると 無量の 風の 中 です
22

3）旅ゆくところ

1
2
3
生まれた ところ そこが ふる さと
などと わたしに いえる はずも ない
そこは あな たの ふる さと
4
5
6
7
みどりごは ねむり
生まれた ところ そこがふる さ と
などと わたしにいえるはずもない
8
9
10
11
そこは あな たの た ま しい
みどりごは ねむり
白光ながれ
12
13
14
15
16
17
雲わたり
月ひかり
星はながれ
みどりごは ねむり
みどりごは ほほえみ
18
19
20
生まれたところ そこが ふるさと
そういって 人びとは 生きる 空を あおぐ 草 木の ように
21
22
23
ここは 地の 底
24
25
26
旅 ゆく ところ
いのちの 根の くに
旅の そら

雨

降りやまぬ
地表がくずれる

木の実がにおう
わがちちははの
その山の

幾千年のくらがりの
かおる木の実よ

かおるまま

笛

神も見えない無頼ですが
はるばると無量の風
ぬくもるまえに旅だちながら

登録するのはごめんです
リボンも名もいりません5ささ笛ひとつ

しょせんは人間ですが
しょせんはけもののむれですが
ほのほの笛ひとつ

いとしい人よ
生まれておいで
はるばると無量の風の中です

旅ゆくところ

生まれたところ　そこがふるさと
などとわたしにいえるはずもない
そこはあなたのふるさと

　　みどりごはねむり

生まれたところ　そこがふるさと
などとわたしにいえるはずもない
そこはあなたのたましい

　　みどりごはねむり

白光ながれ
雲わたり
月ひかり
星はながれ

　　みどりごはねむり
　　みどりごはほほえみ

生まれたところ　そこがふるさと
そういって人びとは生きる
空をあおぐ草木のように

　　ここは地の底

旅ゆくところ
いのちの根のくに　旅のそら